ホームページのブログ（二〇一九年五月三十一日）より

週に二～三回、二上山に登ります。明け方の空気はとても清々しく、また登山道は、ゴミ一つ落ちていません。なぜなら、一人のおじさんが、毎朝、毎朝、火ばさみとゴミ袋を持って登って来られるからです。私は、挨拶はしますが、声をおかけしたことはありませんでした。数日前、私は、山の中腹で珍しくお菓子のゴミを拾いました。持って降りようかと思いましたが、その時おじさんが登って来られたので「すみません、お願いできますか？」と声をかけました。するとおじさんは、なんと、すまなさそうに「私が拾わなければいけないのに、すいませんね」と言われました。「陰徳」とはまさしく、このおじさんの毎朝の行いだと思います。

今後の行事予定です

◎八月十五日（木）　午後一時～
施餓鬼会法要

※施餓鬼会法要お参りの際は、河南町ぷくぷくドーム駐車場をご利用ください。タクシー送迎いたします。バスの方も送迎いたします。
（別紙配布の案内もご参照ください）

◎九月二十三日（祝）　午後七時半～
彼岸会　逮夜法要

※彼岸会法要は、近隣檀家様中心の法要になっておりますが、どなたでもご参加いただけます。初めてお参りされる方はご一報ください。

あとがき

・住職（真人）
朝のウォーキングでは、五本指のスニーカーを使っています。はだし感覚で歩く楽しさを味わっています。

・先住職（日験）
先日、滋賀方面に旅行に出かけました。久しぶりにゆっくりお湯につかりました。

・寺庭婦人（メイ）
夏野菜はサラダ、酢漬けも良いですね。南瓜や茄子は、油や味噌もよく合います。茗荷や生姜で食欲を出してください。

・寺庭婦人（早智子）
ビールの美味しい季節ですが、ついつい忘れてしまうのが体重です。体重計の針を見るのが怖いです。

・徒弟（大志）
八月のお盆参り、暑さとの戦いです。これも修行と思ってがんばります。

ご霊水と共に

発行　法華寺
No.8
2019.8
河南町加納 247
☎0721933023

まいてら法華寺　検索
寄り添いの寺 法華寺　検索

「ご霊水」について　その二

「水の八徳」という言葉を御存じでしょうか？古い経典（倶舎論）に、浄土で流れている水の功徳が記載されています。その水は「清く、冷たく、美しく、香ばしく、渇きを癒し、飲んで喉を傷めず、胃腸を損なわず、心に叶う」とされています。

五八〇年前、當山の日隆上人の祈りにより、湧き出たご霊水ですが、今年の二月、藤井寺保健所に専門五十一項目の水質検査をお願いしました。その結果、純度が非常に高く、金属、細菌などの数値はほとんど現れず、塩素消毒生成物はもちろんゼロでした。「これほど清らかな湧水は珍しいですね」と保健所の検査係りの方も、驚いておられました。

これからも「信仰の水」として、大切にお守りしていきたいと思っております。

四月の開山忌法要の後、ご霊水の水源に建つ「水原堂（みずもとどう）」にお参りされた方もおられました。

先日、ある外国の方が、ご霊水のことを聞きつけて、水原堂にお参りになりました。その方は「写真や、映像では、本当の宗教的感動は伝わりません。神仏のありがたさや霊的な場所での感動は、その時その場、その人にしかわかりません。このお堂や湧き出し口にお参りすると、現代人が忘れているものを思い出します」とおっしゃられていました。

施餓鬼法要で、お塔婆へのお水を供養しますが、それを灑水（しゃすい）と言います。當山では、ご霊水を灑（そそ）いでいただきます。

「お掃除の日」第一・三日曜日

六月より、毎週第一・第三の日曜日、午前九時半～六十分程度、出入り自由で「お掃除の日・心のチリを払う会」を設定しています。お一人からでも、気楽にご参加いただければ、ありがたいです。

日蓮聖人曰く「一念無明の迷う心は磨かざる鏡なり。これを磨かば、必ず法性真如の明鏡なるべし」塵と垢は執着の心です。掃除をすれば、心の塵を払い、心の垢も取り除かれるでしょう。當山は、桜、ツツジ、新緑、紅葉など、豊かな自然にめぐまれた山寺です。お寺の空気感も存分に味わってください。

「客殿トイレ水洗化」

境内の外お手洗いは、水洗でしたが、この度、客殿も、八月の「施餓鬼法要」に向けて、水洗化の工事を進めています。法要、法事後の御休憩の際には、より快適に過ごしていただけると思います。